

令和4年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 清心認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症対策として、0・1・2歳児クラス(1階)と3・4・5歳児クラス(2階)の交流を控えている。今できる異年齢交流を、子どもたちと考える取組む。</li> <li>○ 春から、園庭に出るとまず花壇の水やりをする5歳児の姿を見て、まねる子どもの姿が見られた。植物の世話をすることで、実や種だけではなく、植物や命の大切さを感じられるよう、3・4・5歳で取り組んだ。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症に留意しながら、健康で快適な園生活を友だちと共に送る。</li> <li>○ 植物の世話を通し、生長を楽しんだり、命の大切さに気付く。</li> <li>○ 様々な友だちと、植物の生長した喜びを共有し合い、交流する。</li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染状況を考慮しながら、3・4・5歳児クラスは2クラスごとに行事の集まりを行う。アサガオの発芽した種を子どもたちが全クラスに分け、園全体で栽培する。</li> <li>○ アサガオの生長を観察し、咲いた花の数をシールで示す。</li> <li>○ 他クラスの野菜の栽培情報を共有できるように、看板作りや、実った野菜を部屋の前に並べて観察できるようにした。</li> <li>○ 夏野菜をグループに分かれて育てたり、他クラスと実った野菜を分け合う交流や給食の料理に取り入れてもらう。</li> <li>○ アサガオを使った夏の色水遊びを、子どもたちと計画する。</li> </ul>
成果	<p>植物の生長だけでなく、友だちとの触れ合いや数・色の概念も育まれていった。また、アサガオ栽培後はラディッシュの種を植え世話をしていた。生長したラディッシュを収穫すると赤や紫・白のかわいい実を眺め、嬉しそうにしていた。水洗いし、皆で食すと、思っていた味と異なるものの、「にがいけどおいしい」「もっと甘いかと思った」など、体感することができていた。またJA農業体験では、大根やじゃがいもを収穫し、いつも食べない大根料理などを口にし、美味しく食べたと言っていた。実体験から植物の生長に興味関心を持ち、食へとつながり、自分や周りの命の大切さに気付いていったと感じた。</p>
評価	<p>コロナ禍の影響を受けつつも、子どもたちの「豊かな心の育ち」を根幹にすえ、異年齢集団での遊びや生活を通して、社会性を養うことを大切にされている。また、本年は特にアサガオやラディッシュなど植物の栽培を通して、「命の大切さ」や「収穫の喜び」、「食への興味関心」、「遊びへの発展」など、子どもたちの成長につながる楽しい実践がなされている。</p>